

●本書文中に登場する用語の訂正箇所

誤「咬傷」

正「咬症」

誤「陸生種」

正「陸棲種」

誤「ヘビ毒金属メタロプロテアーゼ (SVMP)」

正「ヘビ毒金属プロテアーゼ(SVMP)」

誤「ホスホリパーゼ A2」

正「ホスホリパーゼ A<sub>2</sub>」

誤「神経毒 3FTx」

正「神経毒 3FTX」

●その他の訂正箇所

P006：右段 3 行目

誤「人工毒もその含まれる」

正「人工毒もその範囲に含まれる」

P007：左段 5 行目

誤「3,500 種」

正「3,000 種」

P007：モールヴァイパー（管牙類）の頭骨の模式図。（二段目）

誤「動画の構造をしている」

正「毒牙の構造をしている」

P009：右段 29 行目

誤「ジョージ・ルイス・デュベルノワ」

正「ジョルジュ・ルイス・デュベルノワ」

P011：右段 17 行目

誤「主成分の 1 つであるホスホリパーゼの遺伝子が」

正「主成分の 1 つであるホスホリパーゼ A<sub>2</sub> (PLA<sub>2</sub>) の遺伝子が」

P011：左段 30 行目  
誤「デュベルノイ腺」  
正「デュベルノワ腺」

P012：左段 23 行目  
誤「現在までに 8 種の毒へびの」  
正「現在までに 7 種の毒へびの」

P014：図 4「南西諸島成立の過程」解説 2 段目  
誤「かつての大陸におよび島の形」  
正「かつての大陸および島の形」

P014：図 4「南西諸島成立の過程」解説 3 段目  
誤「現在の大陸におよび島の形」  
正「現在の大陸および島の形」

P023：右写真  
写真間違い：セイブサンゴヘビ *Micruroides euryxanthus* の写真を誤って掲載しています。

P025：右写真キャプション  
誤「サハラ砂漠の北と南では環境や文化がかなり異なる。「蛇使い」の習慣はサハラ砂漠の南では見られないものだ。」  
正「サハラ砂漠以北と以南の地域では環境や文化がかなり異なる。「蛇使い」の習慣はサハラ砂漠以南では見られないものだ。」

P030：ジョセフ・ブルーノ・スロウインスキー／左段 3 行名  
誤「少年時代を過ごしし」  
正「少年時代を過ごし」

P034：右段 2 行目  
誤「これまで無毒、無牙類である」  
正「これまで無毒と考えられていた無牙類である」

P034：左段 13 行目  
誤「シガテラ毒 (Ex.シガトキシン：)」  
正「シガテラ毒 (Ex.シガトキシン ciguatoxin：)」

P034：左段 18 行目

誤「ブフォトキシン (Bufotoxin) という配糖体 (一般的には強心ステロイドの名で知られる) を頸腺に蓄積する。」

正「ブフォトキシン (Bufotoxin) という強心配糖体を頸腺に蓄積する。」

P035：左段 16 行目

誤「血液凝固阻害を引き起こす毒 (Hematotoxin)」

正「血液凝固障害を引き起こす毒 (Hematotoxin)」

P036：左段 16 行目

誤「ニシダイヤガラガラヘビ *C. atrox*」

正「セイブダイヤガラガラヘビ *C. atrox* (224 頁)」

P037：へび毒の作用 3

誤「血液凝固障害を引き起こす毒 (Coagulation venom)」

正「血液凝固障害を引き起こす毒 (Hematotoxins)」

P37：右段 サラフォトキシン (Sarafotoxin) 8 行目

誤「高炭酸ガス血症、高二酸化炭素血症」

正「高炭酸ガス血症 (高二酸化炭素血症)」

P038：左段 毒蛇に咬まれた際の禁忌事項の 2 「止血バンド、ターニット、圧迫バンド等を使用して必要以上にきつく締め付けない。」 2 行目

誤「受賞部位」

正「受傷部位」

P048：ケープムカデクイ / 5 行目

誤「デュベルノワ腺」

正「デュベルノワ腺」

P049：ツヤドクヘビ属の学名

誤「*Prothobothrops*」

正「*Polemon*」

P051：4 行目

誤「コブラ亜科 (Elapidae)」

正「コブラ亜科 (Elapinae)」

P051：5行目

誤「分布域はアフリカ大陸を祖として中近東、オセアニア、アメリカ大陸までと」

正「分布域はアフリカ大陸を祖として中近東、アジア、オセアニア、アメリカ大陸までと」

P053：写真キャプション

誤「基亜種のケープコブラ (*A. lubricus*)。」

正「基亜種のケープコブラ *A. l. lubricus*。」

P058：ベニアマガサ／左段8行目

誤「*Calliophis vivirgata*」

正「*Calliophis bivirgata*」

P064：ブラックマンバ属の学名

誤「*Dendleaspis*」

正「*Dendroaspis*」

P065：ブラックマンバ／左段2行目

誤「最大450cmにも達する。巨大な体躯も特徴。」

正「最大450cmにも達する巨大な体躯も特徴。」

P065：ブラックマンバ／右段18行目

誤「マンバルジン(Mambalgi)」

正「マンバルジン(Mambalgin)」

P069：アリノスヘビ属の学名

誤「*Elapsoidea*」

正「*Elapsoidea*」

P075：ムシクイサンゴヘビ 4行目

誤「赤橙色のパターンが続く。」

正「赤橙色のパターンが続く。」

P076：オビスンゴヘビ／12行目

誤「非常に多いこと（本種40～73に対しチュワートは13～21）で」

正「非常に多いこと（本種40～73に対しチュワートは13～21）で」

P078：ランズドルフサンゴヘビ／学名の由来

誤「*angsdorffi*」

正「*langsdorffi*」

P 097：アカドクハキコブラ／右段 6 行目  
誤「射出さえる。」  
正「射出される。」

P 102：キングコブラ／25 行目  
誤「閉じ込め症候群 (lockedin syndrome)」  
正「閉じ込め症候群 (locked in syndrome)」

P 105：ザウテルハイ／11 行目  
誤「リッター層」  
正「リター層」

P 106：ケログワモンベニヘビ／地方名  
誤「福建華サング蛇」  
正「福建華珊瑚蛇」

P 106：ワモンベニヘビ／地方名  
誤「サング蛇」  
正「珊瑚蛇」

P 118：ヒウナジヘビ／右段 4 行目  
誤「シナプス前神経毒」  
正「シナプス前部神経毒」

P 122：モリノサメヘビ／右段 5 行目  
誤「使用を余儀なくされた」  
正「使用を必要とするほど重篤化した」

P 123：イカヘカヘビ／右段 7 行目  
誤「併発し血液凝固が阻害される。」  
正「併発し、血液凝固も阻害される。」

P 125：タイガースネーク／左段 24 行目  
誤「*N. aniger* や *N. ahumpheysi*」  
正「*N. a. niger* や *N. a. humphreysi*」

P130：フィジーヘビ／学名  
誤「*Oxyuranus microlepidotus*」  
正「*Ogmodon vitianus*」

P131：コレットヘビ／左段 6 行目

誤「様々な毒物を捕食し、」

正「様々な動物を捕食し、」

P 141：カールヘビ属／1 行目

誤「フードアスプ属」

正「クロズキンヘビ属」

P 141：カールヘビ／学名の由来

誤「編み眼」

正「編み目」

P 147：トゲウミヘビ／右段 3 行目

誤「例えば、神経毒成分は鎮痛剤やがんなどの抗腫瘍活性への効果が認められ、「Harobin」と呼ばれる溶血性をもつ毒はフィブリノーゲンを分解し血栓症を軽減させるので、高血圧症などへの転用にも期待されている」

正「例えば、神経毒成分は鎮痛剤やがんへの抗腫瘍活性が認められている。また、ハードウィックトゲウミヘビから分離されたハロビン「Harobin」と呼ばれるタンパク質分解酵素は溶血作用をもち、高血圧症や血栓症への治療薬になることが期待されている。」

P 148：クロガシラウミヘビ／左段 11 行目

誤「繁殖形態は胎生。一度 4～5 頭の」

正「繁殖胎生は胎生で、4～5 頭の」

P 158：キマダラウミヘビ／学名の由来

誤「*colubrina*」

正「*saintgironsi*」

P 161：エラブウミヘビ／下左写真キャプション

誤「鼻端板」

正「吻端板」

P 162：コラム／右段 21 行目

誤「常に挙げている」

正「常に上げている」

P 163：クサリヘビ科 1 行目

誤「355 種」

正「356 種」

写真キャプション

誤「ヨコバイガラガラヘビ *Crotalus cerastes* の銅版画。同紙ではこの種の咬傷による壊死の様子が記されている。」

正「ヨコバイガラガラヘビ *Crotalus cerastes* の銅版画とされるが、画はミナミガラガラ *C. durrisus* (230 頁) の特徴を捉えている。また、この画の説明ではペルーでの咬症による死亡例が記されており、分布から鑑みてもミナミガラガラと思われる。」

P 166：ヒシモンナイトアダー／下段写真キャプション

誤「ヒキガエルを捕食する。」

正「カエルを捕食する。」

P 171：セイブガボンアダー／1 行目

誤「*Bitis gabonica*」

正「*Bitis gabonica*」

P 173：パファアダー／上段写真キャプション

誤「こうし毒牙の長さが」

正「こうした毒牙の長さが」

P 186：イロヌリノコギリヘビ／右段 9 行目

誤「毒の作用は本種による明確な死亡例は、」

正「本種による明確な死亡例は、」

P 188：レバントオオクサリヘビ／右写真キャプション

誤「亜種 *M. lebetinaturanica*。」

正「亜種 *M. l. turanica*。」

P 190：ワーグナークサリヘビ／毒性

誤「毒性：出血毒、血液凝固障害 毒性：出血毒、血液凝固障害 英名 地方名：不詳」

正「毒性：出血毒、血液凝固障害」

P 196：ヨーロッパクサリヘビ／学名の由来

誤「(Moritz Wagner 氏への献名)」

正「(“ヘビ”を意味する語)」

P 196：ヨーロッパクサリヘビ／左段 5 行目  
誤「気、呼吸困難などが報告される」⇒削除。

P 198：アメリカマムシ属／1 行目  
誤「6 種が知られる。」  
正「7 種が知られる。」

P 199：カパーヘッド／学名の由来  
誤「(「ねじれた」「複雑)などを表すとされるが詳細は不詳」  
正「(「ねじれた)を表し、背面の模様の形に由来する」

P 201：ヌママムシ／左段 15 行目  
誤「フロリダ島」  
正「フロリダ半島」

P 205：マツゲハブ／右段 1 行目  
誤「ヘビ毒金属プロテアーゼ (SVSP)」  
正「ヘビ毒セリンプロテアーゼ (SVSP)」

P 207：テルシオペロ／左段 11 行目  
誤「オポッサム (Didelphis)」  
正「オポッサム (Didelphidae)」

P 210：ウルトゥー／右段 15 行目  
誤「ブタントン研究所 (InstitutoButantã)」  
正「ブタントン研究所 (Instituto Butantan)」

P211：ブラジルハブ／右段 7 行目  
誤「*Alopoglossusatriventris*」  
正「*Alopoglossus atriventris*」

P 220：マレーマムシ／右段 3 行目  
誤「本種の毒液の組成は筋肉や血管破壊、フィブリノーゲン分解、また血小板の凝集を起こすヘビ毒金属プロテアーゼ(SVMP)やセリンプロテアーゼ (SVSP) がほとんどで」  
正「本種の毒液の組成は筋肉や血管破壊、フィブリノーゲン分解などを生じさせるヘビ毒金属プロテアーゼ(SVMP)や血小板の凝集を引き起こすヘビ毒セリンプロテアーゼ (SVSP) がほとんどで」

P 229：シンリンガラガラ／左段 15 行目

誤「卵胎生」

正「胎生」

P 243：シェダオマムシ／左段 14 行目

誤「鳥類も積極的に捕食する。さらに成蛇では生涯の餌資源のほとんどを鳥類に頼る。こうした食性はクサリヘビ科 (Viperidae) では珍しい。」

正「鳥類も積極的に捕食し、生涯の餌資源のほとんどを鳥類に頼っているという珍しいクサリヘビとされる。」

P 244：セイロンマムシ／右段 11 行目

誤「セイロンハブ」

正「セイロンマムシ」

P 248：ズグロブッシュマスター／左段 8 行目

誤「*Lachesi muta*」

正「*Lachesis muta*」

P 252：ヒメハブ／上段写真キャプション

誤「沖縄県山原（やんばる）の溪流で。」

正「沖縄県山原（やんばる）の溪流で撮影された雄の成蛇」

P 257：ナノハナハブ／右段 3 行目

誤「という繁殖形態をとり」

正「という繁殖形態をとり」

P 272：キリガクレアオハブ／分布

誤「キャメランハイランド」

正「キャメロンハイランド」

P 274：タケアオハブ／左段 15 行目

誤「台湾に棲む個体」

正「台湾の個体群」

P 279：ヨロイハブ／右段 10 行目

誤「LD50 の数値は 0.6mg/kg とやや高いが、咬まれても多少の腫れがある程度で、人に対する毒性は低いとされる」

正「マウスに対する LD50 の数値は 0.6mg/kg と高いが、人に対する毒性は低く、咬まれても多少の腫れがある程度とされる。」

P281：ヒロオビヨロイハブ／23行目

誤「ついてはは」

正「ついては」

P288：ブランディングオオガシラ／分布

誤「アフリカ中部（コンゴ、ガボン。）」

正「アフリカ中部（コンゴ、ガボン、）」

P289：フィッシャーオオガシラ／分布

誤「アフリカ中部（コンゴ、ガボン。）」

正「アフリカ中部（コンゴ、ガボン、）」

P290：サバンナツルヘビ／左段12行目

誤「や頭頂に」

正「、頭頂に」

P290：サバンナツルヘビ／下段右写真キャプション

「写真は亜種のオーツツルヘビ。」を文末に追加

P293：ミゾクビヤマカガシ／4行目

誤「頸腺が長く、」

正「毒腺が長く、」

P293：ミゾクビヤマカガシ／11行目

誤「食べ、るほか」

正「食べるほか」

P294：ミドリコダマヘビ／学名の由来

誤「*capensis*」

正「*olfersii*」

P295：ペルーハヤヘビ／右段3行目

誤「信頼性は低いものと考えられる。」

正「本種による死亡を疑問視する声も多い。」

P297：サブタイトル

誤「クレオパトラの腕を噛んだ種は？」

正「クレオパトラの腕を咬んだ種は？」

P 303 : 写真キャプション

誤「メキシコマムシ」

正「クマドリマムシ」

P 304 : 右段 4 行目

誤「亜種 *B. f. baluensis*」

正「亜種キナバルベニアマガサ *B. f. baluensis*」

P304 : 右写真キャプション

誤「幼蛇も頸部に尾は白い」

正「幼蛇も頸部には白い」

P 305 : 下段左右写真キャプション

誤「クロヒタイサンゴヘビ *Micrurus frontifasciatus* (左) と後牙類のエスクラピアカガヤキヘビ *Erythrolamprus aesculapii* (右)。」

正「クロヒタイサンゴヘビ *Micrurus frontifasciatus* (H) と後牙類のエスクラピアカガヤキヘビ *Erythrolamprus aesculapii* (G)。」

P306 : 左段 3 行目

誤「とノコギリヘビ属」

正「ノコギリヘビ属」

P 320 : 毒ヘビ便覧／ウミヘビ属の学名

誤「*Hydrelaps*」

正「*Hydrophis*」

P 321 : 毒ヘビ便覧／クサリヘビ科

誤「4 亜科 35 属 355 種」

正「4 亜科 35 属 356 種」

P 321 : 毒ヘビ便覧／コブラヴァイパー亜科 2 行目

誤「クサリヘビ亜科に於かれる」

正「クサリヘビ亜科に置かれる」

P 323 : 毒ヘビ便覧／マムシ亜科

誤「21 属 253 種」

正「21 属 254 種」

P 323：毒へび便覧／アメリカマムシ属

誤「6種」

正「7種」

「ヌママムシ *A. piscivorus* (LACÉPÈDE, 1789) 」を追加

P 325：毒へび便覧／マムシ属

誤「種名「ズナガマムシからウスリーマムシ」までの学名の属名（略）について。「C.」

正「種名「ズナガマムシからウスリーマムシ」までの学名の属名（略）について。「G.」

カバー裏／毒へびを巡る文化

誤「クレオパトラの腕を噛んだ種は？」

正「クレオパトラの腕を咬んだ種は？」